オープンアクセスと機関リポジトリについて

メタデータ	言語: jpn 出版者: 浜松医科大学附属図書館 公開日: 2012-07-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 晃一 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/2242

オープンアクセスと機関リポジトリについて

加藤晃一
（浜松医科大学学術情報課）

オープンアクセス・カフェ＠名古屋工業大学

2011年1月13日

オープンアクセスとは

- 学術雑誌に掲載された論文の無料で制約のないオンラインでの利用（無料で恒久アクセス、著作者人格権を除き自由な利用、著者最終稿のリポジトリへの登録、など）

- 例えば
  - ・Nucleic Acids Research（最初のOA誌）
    http://nar.oxfordjournals.org/
  - ・BioMed Central
    http://www.biomedcentral.com/
  - ・PubMed Central
    http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/
  - ・PLoS(Public Library of Sciences)
    http://www.plos.org/
  - ・DOAJ：Directory of Open Access Journals
    http://www.doaj.org/
  - ・J-STAGE
    http://www.jstage.jst.go.jp/browse/

オープンアクセスとは

- オープンアクセスの背景
  - ・Serials Crisis（雑誌の危機）
  - ・SPARC、SPARC Japanの活動
    →機関リポジトリの推奨

- 電子ジャーナルの導入
  - ・購読タイトルは（一応）復活した
  - ・新たな「価格」問題　→　OA化の要望

出版社・著作権との関係

- 学術出版社・学会の刊行物
  ・概ね著作権譲渡が投稿条件

- 著者のWebサイトでの公開
  ・一定条件で「セルフ・アーカイブ」が可能
  ・IEEEは出版社版OK
  ・SHERPA/RoMEO
  http://www.sherpa.ac.uk/romeo/
  ・SCPJ
  http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/

世界・日本における最近の動向

- 主要出版社の動き
  ・OA化の動き（Springer, Nature, BMJ）
  ・SpringerによるBioMed Centralの買収→OA誌刊行

- 米国の動き
  ・NIHパグリックアクセス方針
  ・公的資金による研究成果の公開
  ・mandate→OA義務化の増加（部局単位多し）

- 日本の動き
  ・国立情報学研究所の学術機関リポジトリ構築連携支援事業（CSI事業）
  http://www.nii.ac.jp/irp/
  ・学術情報基盤の今後の在り方について（報告）
  http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/06041015.htm
  ・大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について（審議のまとめ）
  http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1282987.htm

機関リポジトリとは

- 機関リポジトリとは
  大学及び研究機関等において生産された電子的な知的生産物を保存し、原則的に無償で発信するためのインターネット上の保存書庫

- ***arXiv***.org e-Print archiveの存在
  ・http://arxiv.org/
  ・高エネルギー物理学分野でのプレプリントによる情報流通
  →主題別リポジトリ

- 大学の研究成果の公開
  ・2002年SPARCによる提唱
  ・セルフアーカイブ

他大学での取り組み

- 世界
  - ・Registry of Open Access Repositories（ROAR)
    http://roar.eprints.org/ （2091件うち日本132件）
  - ・OA Week
    毎年10月頃開催、今年は94か国参加。
- 日本
  - ・2005年千葉大学のCURATORが最初
  - ・CSIによる構築支援

    http://www.nii.ac.jp/irp/list/ （136件）

他大学での取り組み

- コンテンツは色々！
  ・論文only、成果なら何でも、紀要論文
- 可視化が高まるのは間違いない
  ・紀要論文と侮る無かれ！
- アクセスは統計で分かる
  ・どこから注目されているか分かる！